



新田中だより

令和 7 年 2 月 3 日 発行

草加市立新田中学校 生徒数 4 2 4 名

学校教育目標：『豊かな心と学ぶ意欲をもち、広い世界でたくましく生きる生徒』

根を伸ばし、芽を出し、美しい花を咲かせよう

校長 遠 藤 淳 一

3年生は受験シーズン真ただ中で、ここまでの努力の結果を出すことに必死になっているところです。すでに私立受験を終えた生徒が大部分ですが、県公立高校を第一希望にしている生徒が多く、いよいよ正念場を迎えようとしています。最後まで気を抜かず、駆け抜け、大きくて美しい花を咲かせてほしいと思っています。

1・2年生はこの時期どのように過ごしているでしょうか。もうすぐ1年間の成果を見せる時期になりますが、目標達成に向けた努力をし続けていますか。

新田SPIRIT

～ We are tied with strong chains ～

- 1.【感謝】「ありがとう」「ごめんなさい」を言います
- 2.【敬愛】「いじめ」をしません
- 3.【礼儀】心をこめて接します
- 4.【正義】卑怯な振る舞いをしません
- 5.【自律】我慢をします
- 6.【努力】夢に向かって頑張ります



皆さんに質問です。「芽」と「根」はどちらが先でしょうか。ちょっと考えてみてください。

分かりましたか。そうです、多くは「根」が先です（全てがそうではないようですが）。つまり、種をまいて花を咲かせるまでの過程においては、「根」が先で、その後に「芽」が出てくるのです。そして最終的に「花」が咲きます。この花が美しいものになるか、それとも、すぐ枯れてしまう花になるのか。それは全て「根」の伸ばしかたにかかってくるのです。その張り巡らされた根から周りの栄養を多く吸い取り、「芽」にその栄養を送り込むのです。そして美しい「花」を咲かせるのです。

では、この「根」「芽」「花」を自分の生活に置き換えて、それぞれが何に当てはまるか考えてください。おそらく、「根＝情報・知識の吸収」「芽＝方策の実践・挑戦」「花＝目標の達成、成長した自分」等のことを思い浮かべるのではないのでしょうか。

シドニーオリンピック（2000年）女子マラソンの金メダリストである高橋尚子さんが次の言葉を大切にしていると言っていました。

「花の咲かない冬の日は下へ下へと根を伸ばせ」

※「冬の日」とは、単純に冬の季節ではなく「成果が出ない苦しい時」と捉えると分かりやすいですね。



3年生はもうすぐ花が咲きます。1・2年生は、まずこの3月で1年間の花を咲かせてほしいですが、もう少し長い期間（義務教育）を考えると、1年生はあと2年間、2年生はあと1年間あります。しかし、すでに根を伸ばしている時期は過ぎているかもしれません。特に2年生は、あと1年後に花を咲かせなければなりません。芽を出す時期を逃してはなりません。1年生は、まだ芽が見えてこない人もいます。しかし、ここまでの1年間でだいぶ根から栄養を蓄えてきているはずです。そろそろ芽を出さないと花を咲かせるまでが苦しくなります。早く芽を出したいところですね。

この時期に自分の伸ばした根を確認し、自信を持って芽を出せた人が、最後に美しい花を咲かせるのではないのでしょうか。

